



三重県の県政情報をお届けします

県政だより

◎毎月1日 発行 ◎毎月第1日曜日 新聞折込

みえ

県のテレビ番組

中京テレビ 吉田沙保里のまるみえ検定
毎週土曜 16時55分～
(再放送 毎週火曜 25時24分～)

三重テレビ 県政だより みえ
毎月第3日曜 18時45分～

県のラジオ番組

FM三重

三重県からのお知らせ
月曜～金曜 7時43分～ 金曜 18時25分～
こんにちは三重県です
火曜 18時22分～

県政だより みえ

令和2年
(2020)
No.426

スマホで

らくらくらく!

三重の旅

県では、スマートフォンやタブレットなどの携帯端末を利用して手軽に観光を楽しんでいただくための環境整備を進めています。今号では、デジタルツールを活用したサービスの一部を紹介します。

県では、スマートフォンやタブレット



オンデマンドタクシーでの旅行の様子(海女小屋体験 志摩市)

注目情報

スマートニュースの三重県チャンネルで県の情報をお届けします

県では、スマートフォン・タブレット向けニュースアプリ「Smart News (スマートニュース)」の三重県チャンネルで公式情報を発信しています。県からのお知らせやイベント情報、三重県の魅力を伝えるプロモーションサイト「つづきは三重で」の記事に加えて、5つの公式SNSが三重県チャンネル内でまとめて掲載されています。時間帯や場所を問わず、どなたでも気軽に三重県の情報を入手できる便利なアプリですので、ぜひご利用ください。

アプリのダウンロードはこちらから!

三重県 公式情報 Q検索



問い合わせ先 戦略企画部 広聴広報課 ☎059・224・2031 FAX059・224・2032 ✉koho@pref.mie.lg.jp

※画面はイメージです。



三重県公式 SNS

Twitter

「防災みえ」「三重県(公式)」

Instagram

「観光三重」「visitmie」

「つづきは三重で」

アプリ1つで複数の情報が見られます

1月号プレゼントクイズ

「?」に当てはまる文字を教えてください。

今号の「知事の皆さんここに注目!」は?

Q スマホ1つで?を楽しもう!

正解者の中から抽選で5人に伊勢型紙のグッズ詰め合わせをプレゼント!

(当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます)

応募締切 令和2年1月31日(金)到着分まで

応募方法 ハガキまたはメールで住所、名前、電話番号、県政だよりの入手先、クイズの答え、県政だよりを読んだ感想をご記入のうえ、ご応募ください。

〒514-8570(住所不要) 三重県広聴広報課「県政だより1月号プレゼントクイズ」係 ✉koho@pref.mie.lg.jp

三重県の人口・世帯数

人口 / 1,779,969人
(男性:869,266人 女性:910,703人)
世帯数 / 745,634世帯 (令和元年11月1日現在)

いろいろな「県政だよりみえ」を発信しています!

県ホームページ

「電子ブック版」「PDF版」「声の三重県だより」

県政だよりみえ Q検索



スマホアプリ

マチイロ



特集
スマホでさらさら！三重の旅

国内のスマートフォン世帯保有率が8割を超え、世界的にもスマートフォンでの情報取得が進んでいます。観光においても、スマートフォンを情報源とした旅行スタイルが増え、デジタルツールを活用した利便性の高いサービスの充実を図っています。

MIE 海外向け三重県観光ブランドロゴ
Once in your lifetime

三重の魅力をYouTubeで配信しています!
県では、訪日外国人旅行者に向けて、三重への旅行に関心を持ってもらえるよう、幅広く三重県の魅力をPRする動画を配信しています。
今年度、「文化」「食」「自然」をテーマに新たに動画を制作し、順次追加していきます。
動画はこちらからご覧いただけます。

オンデマンドバス
運賃/300円(小児150円)
観光だけでなくスーパーや病院なども停留所になっているため、生活にも便利!

オンデマンドタクシー
運賃/グループ単位で収受
市内約40カ所で利用可能。相乗りで運賃が40%オフ!

海上タクシー
運賃/1,000円(小児500円)
予約で好きな時間に11カ所から乗船できます。

知事の皆さんここに注目!
スマホで三重を旅

知事コメント動画で見られます
動画は令和2年2月27日

「志摩 MaaS」を使ってみよう!
※ MaaS…Mobility as a Service (モビリティ・アズ・ア・サービス) の略。

MaaSとは、インターネットを使って一括で、目的地までの経路検索、複数の交通機関の予約・決済ができるサービスです。県内では昨年10月から志摩市において実証実験を開始。実験で得られたデータをもとに、1月9日(木)(予定)からはスマホアプリ「ぶらりすと」を用いたオンデマンド交通などの実証実験が志摩市で実施されます。

横山展望台に行く場合の利用例

- 経路検索**
旅行前
専用アプリで、出発地と目的地(横山展望台)、希望時間などを入力します。
- 経路の決定**
検索結果の中から経路を選択します。
(例) 出発駅 ↓(近鉄電車) 鷺方駅 ↓(オンデマンドバス) 横山展望台
既存の路線バスにない停留所を、オンデマンドバスがカバー!
- 予約・決済**
オンデマンドバスなら山上駐車場まで行ける!
アプリで、オンデマンド交通の予約と決済を行います。
- 目的地まで乗車**
旅行当日
予約した時間、予約した乗車場所で交通機関を利用してください。決済まで済んでいるので、目的地までスムーズ!

手軽でストレスフリーな観光を提供

キャッシュレス決済
国内や外国からの旅行者の快適な観光をめざし、支払いの利便性の向上と観光事業者の現金を扱う作業の削減のため、県ではキャッシュレスの導入を進めています。
今後は、実証実験で得られた効果を検証し、より効果的な取り組みにつながるよう推進していきます。

スマホでみえ得キャンペーン
答えてラッキー!
スマートフォンを使ってアンケートに答えるだけで、その場でお得な特典を得られるキャンペーンを実施しています。アンケートでいただいたご意見は、おもてなしの向上に反映するなど、今後のサービス向上に役立てます。
お得に三重を旅しながら、よりよい三重の観光と一緒に楽しみましょう!
キャンペーンについての詳細は、ホームページをご覧ください。

キャンペーン参加登録 → 施設でQRコードを読み込む → ポイントゲット

アンケートに答えてその場でお得な特典をゲット!

ポイントをためて豪華賞品が当たる抽選に応募しよう!
第1弾応募期間 2月29日(土)まで

このステッカーが目印です!
「みえ旅案内所」(60軒以上)
「みえ旅おもてなし施設」(290軒以上)

初回登録はこちら!

県では今後も関係団体と協力しながら、効果の検証や情報共有を行い、県内観光地への普及啓発・支援に取り組みます。サービスの活用やイベントへの参加など、皆さんと一緒に魅力的な観光地づくりを盛り上げましょう。

問い合わせ先 雇用経済部 観光局 観光政策課 ☎ 059・224・2077 FAX 059・224・2801 ✉ kanko@pref.mie.lg.jp

横断歩道、きちんと一時停止していますか?
ドライバー、ライダーの皆さん、信号機のない横断歩道を横断しようとする歩行者がいるときに、一時停止をしますか。
横断歩道に近づいた車両は、横断歩道を横断しようとする歩行者がいるときに、直前で一時停止し通行を妨げないようにする必要があります。道路交通法では、これを「横断歩道における歩行者優先」と定めています。しかし、令和元年8月に日本自動車連盟(JAF)が全国で行った「信号機のない横断歩道での一時停止状況の調査」において、三重県の停止率は、3.4%(全国平均17.1%)と、全国ワースト1位という結果でした。県警察では、毎月11日を「横断歩道『SOS』の日」と定めて街頭啓発活動や交通指導取り締まりを強化しています。この「SOS」には、さわやかな(S)、横断で(O)、スマイル(S)という願いを込めています。また、小学生を対象に、横断歩道を横断するときに、停止している車両の運転者にに対してお辞儀をして感謝の気持ちを伝える「まもってあげよう」という運動も推進されています。これは、将来、小学生が車両の運転者になることを見越し、横断歩道の正しいルールとマナーを学ぶでもらうことを目的としています。
横断歩道を横断しようとするときは、車両の運転者に渡ろうとする意思を伝え、左右の安全を確認してから横断し、停止している車両の運転者に対して、お辞儀や会釈をするなどして、道路を利用する皆さんが、事故のない安全で安心な交通社会と「さわやかな、横断で、スマイル」をめざしましょう。

問い合わせ先
警察本部交通部 交通企画課
☎ 059・222・0110 代表
FAX 059・226・9919 (直通)

知事年頭のごあいさつ
みんなが大切にされる三重へ! みんなで創る新時代の三重へ!

あけましておめでとうございます。県民の皆さんには、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。
昨年は、4月に、上皇・上皇后陛下が「神宮に親謁の儀」のため平成最後の地方への行幸啓として、また11月には、天皇皇后両陛下が「即位礼及び大嘗祭後神宮に親謁の儀」のためご来県なされました。時代の節目に、三重の地で歴史的な儀式が執り行われたことを大変光栄に思います。「令和」の時代においても、県民の皆さんが笑顔で安心して暮らせる「幸福実感日本一」の三重の実現に向けて、着実に取り組んでまいります。

安心して暮らせる三重へ!
今年は、阪神淡路大震災から25年、東海豪雨から20年の節目を迎えます。昨年、本県では、台風第19号や大雨などにより甚大な被害が発生しました。また「記録的短時間大雨情報」はこれまで最多の9回発表されました。県では、全力を挙げて災害復旧に取り組むとともに、「自助」「共助」「公助」の力を結集し、ソフト・ハード面から防災・減災の取り組みを強化してまいります。

7月にCSF(豚コレラ)が発生し県内全域の養豚農場等においてワクチン接種を行ったところですが、引き続き、感染拡大防止、経営支援、風評被害などの対策に全力で取り組んでまいります。同時期にアコヤガイの大量へい死も発生し、海水温などの漁場環境が

影響していると考えられるため、研究体制の強化や経営支援など被害軽減対策を進めます。
また、通学児童や未就学児の安全確保、児童相談体制の強化など、かけがえない命を社会全体で守る対策を進めます。

スポーツで躍動する三重へ!
本年は、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、県民の皆さんに「する」「みる」「支える」というさまざまな形でスポーツに参画していただく絶好の機会です。この機会を来年の「三重とこわか国体・三重とこわか大会」につなげ、「オール三重」で準備を進めるとともに、「三重とこわか国体での天皇杯・皇后杯獲得に向けて取り組んでまいります。」

未来への希望・挑戦する三重へ!
Society 5.0時代の革新的な技術を活用して、全国トップクラスの健康づくり県に向けた取り組みや「空飛ぶクルマ」などの次世代モビリティ、全国に先駆けた児童虐待対策さらには農林水産業や建設業のスマート化、また、持続可能な社会をめざして「脱炭素」プラステックスマートの実現など、未来を切り拓くための取り組みに挑戦していきます。

最後に、本年が皆さんにとって幸多い年となりますことを心から祈念申し上げます。

三重県 知事 鈴木英敏

不妊治療と仕事の両立
近年、働きながら不妊治療を受ける夫婦が増えていきます。しかし、治療に関する情報不足や周囲の理解不足から、不安や悩みを抱える人が多くいます。県では、そのような問題を解決するため、不妊治療を受けやすい環境づくりを進めています。

不妊治療の現状

- 治療費(医療保険適用外) : 平均10〜50万円(治療内容による)
- 県が行う特定不妊治療費の助成 : 年間2千件超 超層階200名の約8割
- 特定不妊治療費助成申請者夫婦の年齢(平成30年度助成) : (夫)59%が30代 (妻)72%が30代
- 不妊治療のための休暇制度のある県内事業所の割合 : 1.8%

不妊治療と仕事の両立支援に向けた取り組み

助成金の充実
特定不妊治療を受けた夫婦に対して費用の一部を助成しています。本年度から初回の男性不妊治療費助成金額を、15万円から30万円に引き上げました。(2回目以降は変わりません)

初回の治療	2回目以降
男性不妊30万円	夫婦合算所得が400万円未満の場合
最大30万円(一部7万5千円)	上乗せ10万円
	男性不妊15万円
	最大15万円

詳しくは、県ホームページをご確認ください。
三重県特定不妊治療費助成

相談しやすい環境の整備
不妊、不育症に関する悩みや不安、検査、治療などについて、看護師や助産師などの専門相談員による相談を行っています。

企業への啓発・制度づくりの支援
県は、医療や労使の関係団体と、全国初となる不妊治療と仕事の両立を推進する連携協定を結び、両立支援に向けた取り組みを進めます。今後「企業の不妊治療への理解を深めるため」企業の管理職、担当者向けセミナーや講演会などを開催し、企業内での不妊治療を受けやすい環境づくりをサポートしていきます。

不妊治療当事者アンケート結果
(県指定医療機関および市町)

- 治療と仕事の両立が難しい : 66%
- 職場に不妊治療をサポートする制度がない : 64%
- 相談できる場所がない・どこに相談すればいいかわからない : 45%

働き盛りの世代の不妊治療を支援するためには、不妊治療への理解を深めることや相談しやすい環境の整備に加え、企業による休暇制度などの整備が必要です。

問い合わせ先
子ども・福祉部子育て支援課
☎ 059・224・2224
FAX 059・224・2270
✉ kodomok@pref.mie.lg.jp

相談日時 第1・2・4火曜日 10時〜16時
第3火曜日 10時〜20時
※第5火曜日(祝日)年末年始を除く
相談無料 秘密は守ります

国登録有形文化財(建造物)トレーディングカード
県内の国登録有形文化財建造物を1棟ごとに紹介するトレーディングカード(146種類)を各施設などで配布しています。

国登録有形文化財(建造物)トレーディングカード
三重県建築士会

問い合わせ先 教育委員会事務局 社会教育・文化財保護課 ☎ 059・224・2999 FAX 059・224・3023 ✉ shabun@pref.mie.lg.jp

みえの
若者



お仕事について教えてください

着物や帯の生地などに図柄を染めるための型紙を作っています。緻密な美しさから美術品としても扱われる伊勢型紙ですが、本来は染めるための道具として使われています。

私は伊勢型紙に出会った時にとっても感動し、一生の仕事にするため、弟子入りを決めました。鈴鹿市の地場産業として何百年と続いていることがすごいですし、受け継がれてきた技術を自分も責任を持って



紙を彫る小刀は、職人自ら研いで作ります。

し、一生の仕事にするため、弟子入りを決めました。鈴鹿市の地場産業として何百年と続いていることがすごいですし、受け継がれてきた技術を自分も責任を持って

伊勢型紙を元気にしたい!

て次世代に伝えたいです。しかし、全国的には伊勢型紙があまり知られていない現状があり、もっと多くの人に伊勢型紙を知ってもらうことで、この業界を元気にしたいと思っています。修行を進める傍ら、さまざまな業界の若手職人が集まるグループ活動に参加して、広報活動やワークショップ、展示会などを行いながら、たくさんの気付きや刺激ももらっています。



展示会で伊勢型紙の魅力を伝える那須さん。

大切にしていることは何ですか?

ワークショップなど、型紙づくりの体験では、型紙を彫って、紙に染める作業を体験してもらいます。型紙が染めるための道具であることを伝えながら、自分で作ることで伊勢型紙の魅力や素晴らしさを感じて

もらえるようにしています。人が伊勢型紙に対して感じる魅力は、美術品であったり、型紙づくりの体験であったり、さまざま、その需要によって伊勢型紙の業界が元気になる可能性はあると思っています。まだいろいろと模索中ですが、まずは知ってもらい身近に感じてもらうことが大切だと思っています。

これからも、自分がこの仕事を続けるためにも、また伝統ある工芸品として次の世代につなげるためにも、この業界を支える努力を続けていきたいです。



伊勢型紙職人 **那須 恵子さん**

鈴鹿市

岐阜県出身。伊勢型紙職人に弟子入りして10年目。技術を磨きながら、伊勢型紙の魅力を伝える幅広い活動を展開中。

お知らせ

三重県地球温暖化防止活動推進員の募集

受付 1月6日(月)~2月5日(水)
応募資格 県内在住で満18歳以上の方
地球温暖化問題に対する県民の皆さんの理解を深め、家庭での取り組みの普及啓発を行う推進員を募集します。
問 環境生活部 地球温暖化対策課 ☎059-224-2368 FAX 059-229-1016

令和2年度みえ森林・林業アカデミー受講生の募集

受付 1月14日(火)~2月21日(金)
対象 主に森林・林業・木材産業に関わる既就業者「ディレクター」「マネージャー」「プレーヤー」としての林業人材を育成する基本コースの受講生を募集します。
問 県林業研究所 アカデミー運営課 ☎059-262-5350

令和2年三重県警察年頭視察式

日時 1月23日(木)10時30分~11時30分
場所 メッセウイング・みえ 南側駐車場
警察官や警察車両の行進、白バイの訓練、ふれあい広場では、警察車両の展示や警察音楽隊の演奏を実施します。
問 県警察本部 警務課 ☎059-222-0110(代) 三重県警察

2020年農林業センサスの実施

日程 1月~2月
対象 農林業を営んでいる全ての農家、林家や法人
農林業の実態を把握するための統計調査が行われますので、調査員が伺いましたら、ご回答をお願いします。
問 戦略企画部 統計課 ☎059-224-2052 FAX 059-224-2046

イベント

企画展「関根正二展」

日程 1月19日(日)まで
場所 県立美術館 企画展示室
大正時代の青年画家、生誕120年・没後100年の過去最大回顧展を開催します。
問 県立美術館 ☎059-227-2100 FAX 059-223-0570

空間アート展~古道の旅人

日程 2月9日(日)まで
場所 県立熊野古道センター 企画展示室
子どもから大人まで、観て、体感して、楽しめる空間アート展を開催します。
問 県立熊野古道センター ☎0597-25-2666 FAX 0597-25-2667

企画展「1960年代の熱気を未来につなぐ」

日程 2月24日(月・振休)まで
場所 県総合博物館 企画展示室
1960年代に三重県で起こったさまざまな変化を、映像・写真などでふりかえる企画展を開催します。
問 県総合博物館(MieMu) ☎059-228-2283 FAX 059-229-8310

福を呼ぶ!? 物知り神獣、白沢のはなし

日時 2月29日(土)13時30分~15時30分
場所 斎宮歴史博物館 講堂
受付 2月8日(土)まで
悪を退け、福を呼ぶ聖獣「白沢」についての講座を開催します。
問 斎宮歴史博物館 学芸普及課 ☎0596-52-3800 FAX 0596-52-3724

相談窓口

三重県アレルギー相談センター

受付時間 毎週月曜日/木曜日 13時~16時
研修を受けた看護師による、診療ガイドラインに基づいたアドバイスなど、アレルギー疾患について相談できます。

少年相談110番

受付時間 平日9時~17時 ※祝日、年末年始を除く
少年の皆さんの非行問題、いじめ、犯罪被害等の悩みごとや困りごとについて相談できます。

各記事の詳細はこちら

動画をチェック! 動画は令和2年2月27日(木)まで視聴できます。

県動物愛護推進センター あすまいる

さまざまな理由で保健所に収容された犬や猫の譲渡をはじめ、飼育に関するアドバイスや災害時の動物救護の体制づくりを行う施設。「いぬのへや」や、「ねこのへや」では、譲渡犬や譲渡猫が新しい飼い主を待っています。

住所 津市森町 2438-2 ☎059-253-1238

スマホやタブレットをかざすと**動画が見られます!**
1 **まずはアプリ「アリエAR」をダウンロード!**
2 **アプリを起動し、QRマークが**
3 **スキャン後動画が始まります。**

次号のお知らせ 2月号は**2月2日(日)**に新聞折込予定です。
リサイクル適性 三重県は環境安全活動を推進するシンボルとして、エコマークを使用しています。
この広報紙は、再生紙と、環境にやさしい植物性インクを使用しています。

編集・発行/三重県広聴広報課 「県政だより みえ」に関するご意見・ご感想をお寄せください。点字版・音声版をご希望の方は、お問い合わせください。
〒514-8570(住所不要) 三重県広聴広報課 ☎059-224-2788 FAX 059-224-2032 koho@pref.mie.lg.jp 県庁電話案内(各課ご案内) ☎059-224-3070
●「県政だより みえ」は、県および市町施設、スーパー、コンビニ、金融機関、郵便局などでも入手できます。 ●お知らせやイベント情報は、県のフェイスブックやツイッターでも配信しています。

共立メンテナンスでは東海地方を中心にさまざまな事業展開をしています!
三重県内ホテル事業 **dormy inn 津**
学生寮事業 **ドーミー長久手 2020.4 NEW OPEN**
0120-93-5606

光倫会館
株式会社 **ふじや本店**
経済産業大臣認可 全日本葬祭業協同組合連合会加盟
家族葬から社葬まで、安心の24時間365日受付
0120-114248
本社/四日市光倫会館 光倫会館 桜ホール 富田光倫会館 津光倫会館